

# 検証意見書

2024年7月10日  
意見書番号：SGS24/023

アズビル株式会社  
東京都千代田区丸の内2-7-3  
取締役 代表執行役社長  
山本 清博 様

SGS

## 検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、アズビル株式会社（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

## 検証範囲

検証対象は、Scope1及びScope2、エネルギー消費量、グリーン電力購入量、Scope3、水購入量、産業廃棄物発生量である。

対象期間は、国内は2023年4月1日～2024年3月31日、海外は2023年1月1日～12月31日である。

詳細な検証対象範囲は別紙参照。

## 検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：藤沢テクノセンター、アズビルTACO株式会社埼玉工場の現地検証及び証憑突合、藤沢テクノセンターでのその他検証対象範囲に対する分析的手続き及び質問

判断基準は、事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案 ver1.6）、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 5.0）及び組織が定めた手順（環境パフォーマンスデータ算定ルール（Scope1, 2）、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver. 2.6）及びサプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）及び組織が定めた手順（Scope3 GHG 排出量算定書 解説編）を用いた。

## 結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I  
ビジネスアシュアランス  
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

1 / 3

本書面は、SGSジャパン株式会社によってwww.sgs.com/terms\_and\_conditions.htmで参照することができる「認証サービスの一般条件」に従って発行されたものであり、「認証サービスの一般条件」に規定されている責任の制限と補償に関する条項および管轄に関する条項等に従います。この書面に記載された内容は検証を行った時点におけるまた適用される場合は組織の指示の範囲内における確認内容を示しています。組織およびこの書面に関するSGSジャパン株式会社の責務は取引文書におけるすべての権利および義務の遂行から、免除させるものではありません。本書面の内容または体裁について、許可なく偽造、変造または改ざんすることは違法であり違反した場合には法令に基づくあらゆる範囲において罰せられる可能性があります。

別紙

2024年7月10日  
意見書番号：SGS24/023

検証対象範囲の詳細

検証対象	検証範囲	GHG等に関するステートメント
1 Scope 1、2(エネルギー起源)及びエネルギー消費量	組織の国内及び海外連結会社（合計194サイト）	<p>A) 事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン（試案ver1.6）における排出係数            Scope 1： 4,521t-CO<sub>2</sub>            Scope 2： 16,418t-CO<sub>2</sub></p> <p>B) 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 5.0）及びIEA Emissions factors(2023ed)における排出係数（マーケット基準）            Scope 1： 4,495t-CO<sub>2</sub>            Scope 2： 12,422t-CO<sub>2</sub></p> <p>C) 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 5.0）及びIEA Emissions factors(2023ed)における排出係数（ロケーション基準）            Scope 1： 4,495t-CO<sub>2</sub>            Scope 2： 18,882t-CO<sub>2</sub></p>
2 グリーン電力購入量	組織の国内及び海外連結会社（合計194サイト）	15,606,273kWh
3 Scope 3 カテゴリー1、2、6、7、11	組織及び連結会社	カテゴリー1： 435,258t-CO <sub>2</sub> カテゴリー2： 19,780t-CO <sub>2</sub> カテゴリー6： 1,315t-CO <sub>2</sub> カテゴリー7： 4,560t-CO <sub>2</sub> カテゴリー11： 386,010t-CO <sub>2</sub>
4 カテゴリー3	組織の国内及び海外連結会社（合計194サイト） ※日本、中国（大連）、スペインを除く拠点は、電力及びガソリンのみが対象	4,180t-CO <sub>2</sub>
5 カテゴリー4	組織及び連結会社 ※組織及び連結会社が費用負担する輸送に限る	31,532t-CO <sub>2</sub>
6 カテゴリー5	組織及び連結会社 ※一般廃棄物を含む。	2,205t-CO <sub>2</sub>
7 カテゴリー12	組織及び連結会社 ※容器、包装は含まない	1,062t-CO <sub>2</sub>

8	水購入量(取水源：上水、工業用水)	国内及び海外生産拠点の合計14サイト	116,405m <sup>3</sup>
9	産業廃棄物発生量	国内及び海外生産拠点の合計14サイト ※産業廃棄物の品目に相当する有価物を含む	2,443t